

**製品名: ネフロシスチン-5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14564**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	69kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IQCB1
別名	IQCB1; KIAA0036; NPHP5; OK/SW-cl.85; IQ calmodulin-binding motif-containing protein 1; Nephrocystin-5; p53 and DNA damage-regulated IQ motif protein; PIQ
遺伝子 ID	9657.0
SwissProt ID	Q15051
免疫原	抗血清はヒト IQCB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

**背景**

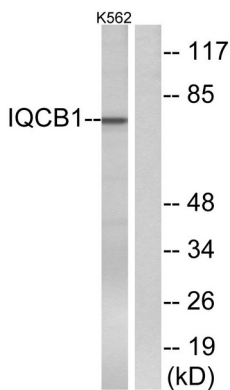
この遺伝子は、カルモジュリンおよび網膜色素変性症 GTPase 調節タンパク質と相互作用するネフロシスチンタンパク質をコードし

ています。コードされているタンパク質は、中心のコイルドコイル領域と 2つのカルモジュリン結合 IQ ドメインを有しています。腎上皮細胞の一次繊毛および光受容細胞の連結繊毛に局在しています。このタンパク質は繊毛機能に関与していると考えられています。この遺伝子の欠陥は、シニア・ローケン症候群 5 型を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の偽遺伝子は 6 番染色体上にあります。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]、疾患: IQCB1 の欠陥は、シニア・ローケン症候群 5 型 (SLSN5) の原因です[MIM:609254]。SLSN は腎網膜疾患であり、腎臓の濾過器官の進行性萎縮 (ネフロン癆) を特徴とし、髄質嚢胞性腎疾患の有無にかかわらず、進行性眼疾患を呈します。典型的には、この疾患は生後 1 年以内に発症します。類似性: 4 つの IQ ドメインを含みます。サブユニット: カルモジュリンと相互作用します。組織特異性: 胎児および成人の組織において普遍的に発現します。光受容細胞の外節および連結繊毛に局在します。、

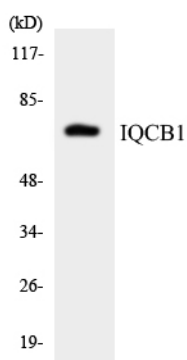
## 研究分野

カルモジュリン/CaMK; シグナル伝達; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達; カルモジュリン経路; 神経科学; 感覚系; 視覚系; 神経伝達

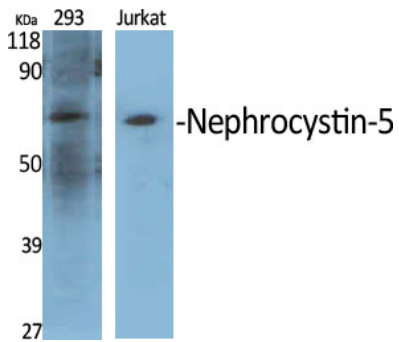
## 画像データ



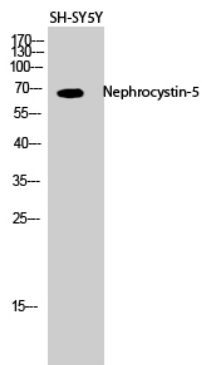
IQCB1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



IQCB1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ネフロシチン-5 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



ネフロシチン-5 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた SH-SY5Y 細胞のウェスタンブロット解析